

社会資本整備審議会 道路分科会 平成 30 年度第 2 回中国地方小委員会
《議事要旨・議事録》

1. 日 時

平成 31 年 3 月 12 日（火） 15:00～16:00

2. 場 所

広島合同庁舎 2 号館 6 階 共用 7 号会議室

3. 出席者

<委員>

ふじわら あきまさ
◎藤原 章正 広島大学大学院 国際協力研究科 教授

いいの きみお
飯野 公央 島根大学 法文学部 准教授

うちやま せいいち
内山 誠一 中国経済連合会 専務理事

やまだ ともこ
山田 知子 比治山大学現代文化学部マスコミュニケーション学科 教授

敬称略、◎委員長

4. 議 題

(1) 新規事業採択時評価について

一般国道 1 8 8 号 ふじゅうながの 藤生長野バイパス

5. 結論

- 一般国道 1 8 8 号藤生長野バイパスの新規事業化については妥当である。
- 防災機能評価において前後に不通区間が残り評価が D ランクのままであることから、バイパス区間以外の早期の対策の検討が必要。
- バイパス整備後の現道側の歩行環境についても検討が必要。

6. 委員からの主な意見

- 防災機能評価の結果として、整備前後とも防災機能ランクが「D」（災害時に到達不可能）であれば、評価対象区間以外の防災対策の早期検討が必要。
- 計画段階評価手続きにおいて、対策案の比較検討が行われているが、全線バイパス案の評価として、現道の歩行者の安全性が「△」と評価されていることから、バイパス整備後の交通状況を踏まえ、現道側の歩行環境についても検討が必要。
- 「防災上の課題解消」が事業目的の一つであるが、計画路線が山側を通過することから、災害時に通行止めとならないような検討を行っていただきたい。